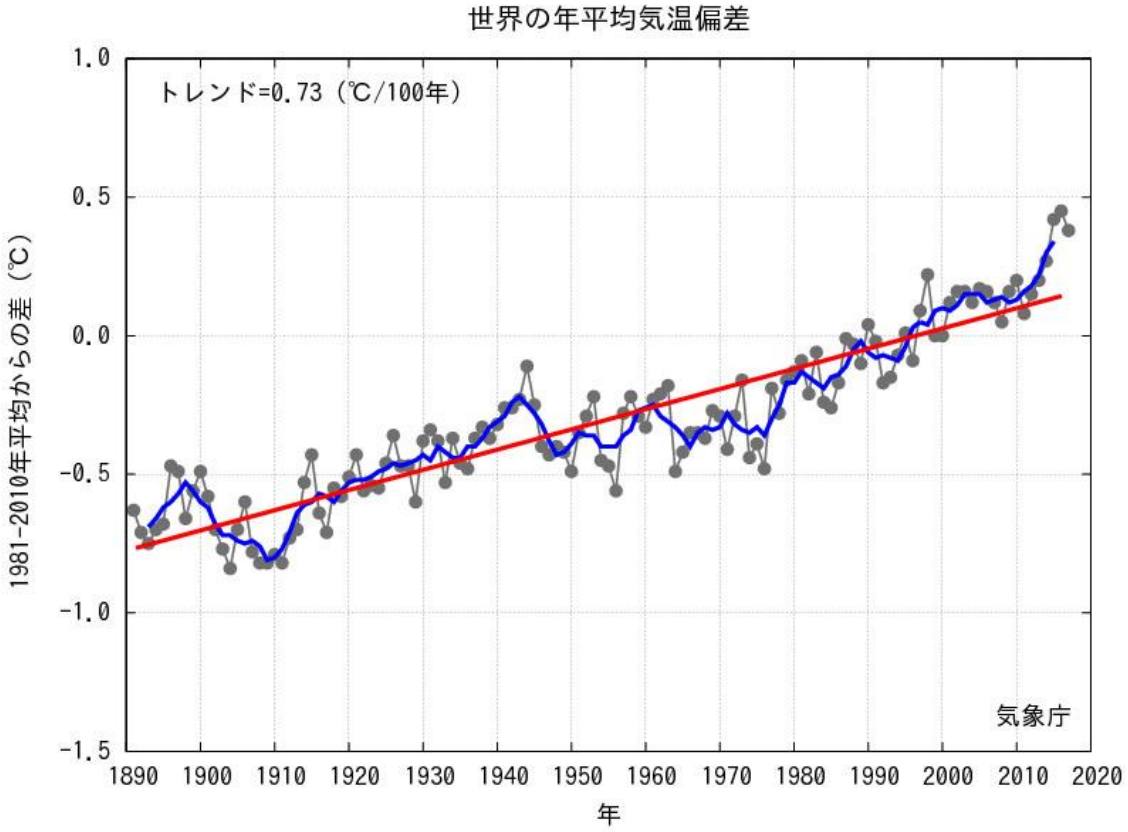
2018.04.08

地球温暖化

小嶋祥三

平均すると地球の気温は上昇しているので、温暖化がすすんでいるのだろう。下に気象庁の発表していた世界の平均気温の変化を載せる。ただ、気温の変化は日々の生活の中では分かりにくい。ツマグロヒョウモンやナガサキアゲハといった南方系の蝶が東京でも見られるようになったことで、温暖化を実感する。わたしが温暖化でとくに感じるのは気候の変動の幅が大きくなることだ。無闇に寒かったり、矢鱈と暑かったり。局所的な豪雨があちこちで起こったり、数十年に一度の大型台風や豪雪があったり、統計をとり始めて以来初めての気象現象が起こったりする。また時期的にも、3 月に夏日があったり、11 月に雪が降ったりする。「統計をとり始めて以来初めて」も「数十年に一度」も、それが頻繁に起こると、もう常態ということになる。先日、巨大なスーパー台風が東京を襲った場合、高潮で下町や銀座の一部が水没することをテレビで放送していた。慶應義塾のある三田も JR 田町駅辺りは海に近いので(潮の香りに気がついたことがある)、水没するかもしれない。そういえば、地下鉄の三田駅に「防潮板」が置いてあったことを思い出した。



世界の平均気温の変化。日本の変化はこれよりも急激のようだ。